

# HIROSHIMA UNIVERSITY BHS NEWS

Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences

## 目次

|   |         |
|---|---------|
| Preface 巻頭言                                   |         |
| 「広島大学新長期ビジョンと<br>大学院医歯薬保健学研究科」                | 安井 弥 1  |
| Greetings ご挨拶                                 |         |
| 「就任のご挨拶」                                      | 服部 登 2  |
| 「就任のご挨拶」                                      | 丸山 博文 2 |
| 「来るべき原子力災害に向かって」                              | 廣橋 伸之 3 |
| 「就任のご挨拶」                                      | 熊本 卓哉 3 |
| Activities 新設講座紹介                             |         |
| 「共同研究講座「幹細胞応用医科学」の開設について」                     | 中島 歩 4  |
| Research Frontline 研究最前線                      |         |
| 「小胞体ストレスをターゲットした<br>革新的治療薬の開発を目指して」           | 小澤孝一郎 5 |
| 「多分野が連携して推進する健康ツーリズムと<br>健康の「まちづくり」研究」        | 小林 敏生 6 |
| Excellent Paper すぐれた論文                        |         |
| 「網羅的アラニンスキャニングを用いたSTAT1遺伝子変異<br>の参照データベースの作成」 | 岡田 賢 7  |
| Air Mail 広大から海外へ留学している若手からの便り                 |         |
| 「米国マウントサイナイ・アイカーン医科大学留学便り」                    | 大野 敦司 8 |
| 編集後記  | 坂口 剛正 8 |

### 広島大学新長期ビジョンと大学院医歯薬保健学研究科

大学院医歯薬保健学研究科長 安井 弥



広島大学新長期ビジョンが策定されました。100年後にも世界で光り輝く広島大学であるための今後10年間のプランです。そこでは、新しい平和科学の理念「持続可能な発展を導く科学 Science for Sustainable Development」の確立により、多様性を育む自由で平和な国際社会の実現を広島大学のミッションとしています。研究、教育、社会貢献の視点から、基礎研究と先端研究の高度化、国際的にチャレンジする人財の輩出、地域と国際社会が協同して発展する社会連携の強化、を3つのビジョンとしています。

昨年度をもって医歯薬保健学研究院を廃止し、4月より教員の配属先が研究院から研究科に移行しました。平成24年に医歯薬学総合研究科と保健学研究科を再編・統合し、医歯薬保健学研究科が設置され、その際、教員組織と教育組織を分離して、分野横断的な3部門（基礎生命科学、応用生命科学、統合健康科学）からなる教員組織として研究院を設置しました。しかし、平成28年度より全教員は学術院に所属して人件費ポイントも全学管理になり、研究院は研究組織としての位置づけとなっていたことから、研究院の廃止による不利益はありません。一方、3つの部門では、多分野融合の特色・利点を活かし、IPE教育や分野横断セミナーを実施するなど大きな役割を果たして来ました。今後は、さらにこの取組みを発展させ、研究・教育・国際化について関連する教員グループを設置し、機能強化を図る方針です。

研究力、社会との連携、国際協働の強化に向けて、2度目の研究科長ヒアリングを実施しました。各研究室で様々な取組みが行われており、大変心強く感じられました。関連病院を含めた研究業績向上委員会の設置、通年にわたる科研費獲得検討会、研究費獲得に向け大学院生を含めた研究テーマ討論会、研究室の最新英文論文30編の廊下掲示などは参考にさせていただきたいと思っております。

